

ぶらっと 柏 ぴんぽ

第33回 増尾近隣センターから歩く

このコーナーでは、地域のかたの情報を基に見つけた珍しいものや歴史などを紹介します。新たな魅力探しに、健康づくりに、あなたも「柏さんぽ」してみませんか？

圏広報広聴課 ☎7167-1175

〈増尾近隣センターへの行き方〉

☒ 東武アーバンパークライン増尾駅東口下車、徒歩10分



今号で取り上げられなかったスポットも掲載



◀ 詳しい地図はこちら

① 住宅地に、突然の足場と…タカ!?

工事会社内にある練習用の足場には陶器のタカが1羽。社長の遊び心で取り付けられたそうです

② 生き物の憩いの場「つばめ池」

地元の小学生が命名した調整池。ツバメなどの渡り鳥や、真っ白なダイサギなど、さまざまな生き物が羽を休めています

③ 旧土村の名残

かつての土村の位置を示す道路元標。近くに、土村の役場跡を示す石碑も隠れているので探してみよう

④ 土小学校の児童を見守る100年桜

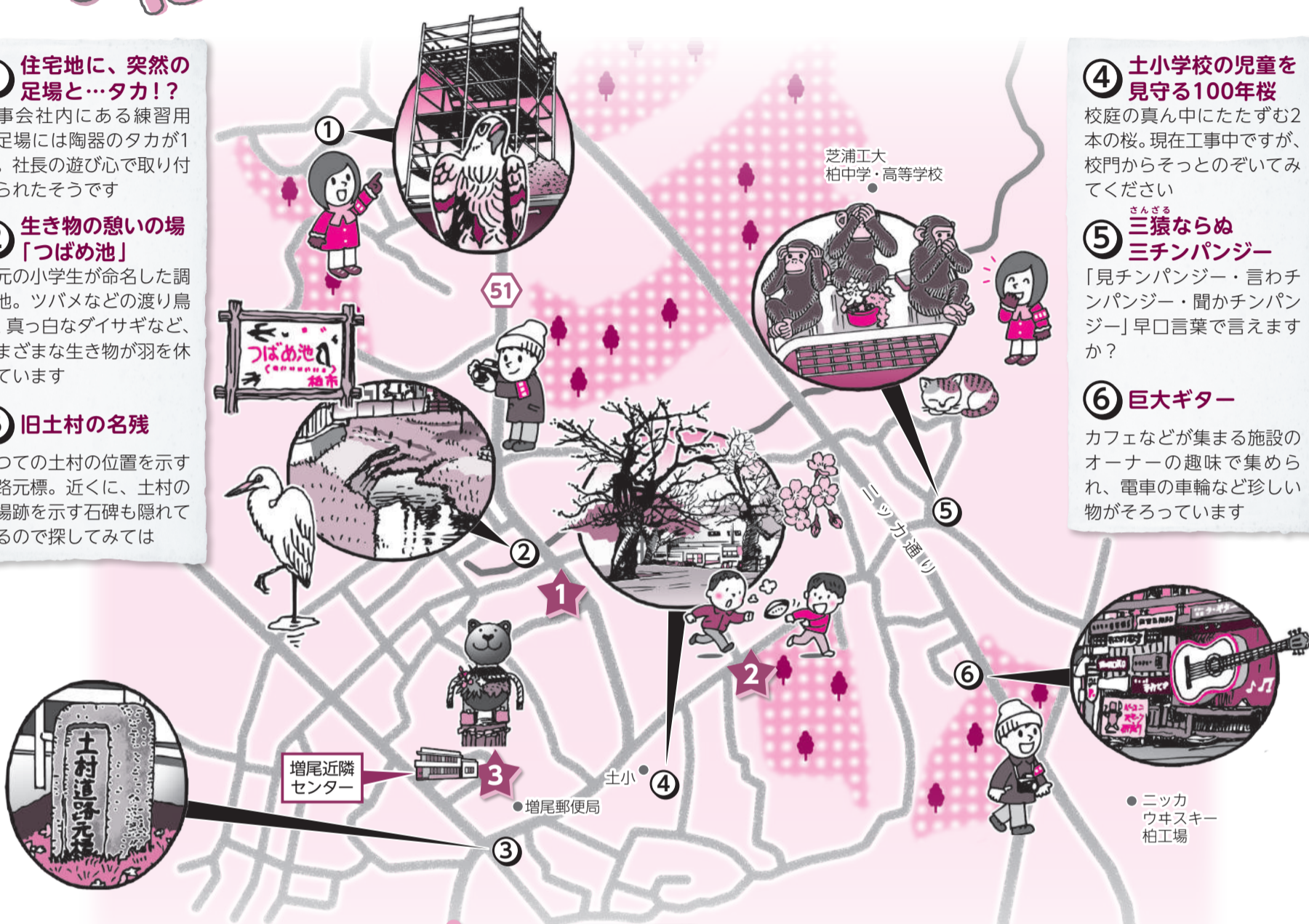
校庭の真ん中にたたずむ2本の桜。現在工事中ですが、校門からそとのぞいてみてください

⑤ さんざる三猿ならぬ三チンパンジー

「見チンパンジー・言わチンパンジー・聞かチンパンジー」早口言葉で言えますか？

⑥ 巨大ギター

カフェなどが集まる施設のオーナーの趣味で集められ、電車の車輪など珍しい物がそろっています



地域のかたのイチオシスポット

1

増尾少林寺のケヤキと石碑

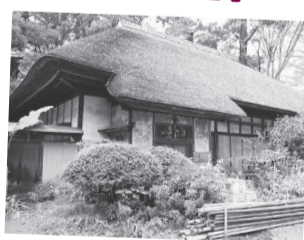
寺の境内には、樹齢120年のケヤキと樹齢250年のサワラの木が寄り添うように並んで立っています。また、増尾で暮らし、少林寺に縁のある女性歌人・江口章子(えぐちあやこ)の読んだ詩が彫られた歌碑を見ることが出来ます。



2

歴史感じる「伊藤家住宅」

18世紀半ばに建築された、かやぶき屋根の母家・井戸小屋などを始め、6棟の建造物が国登録有形文化財に登録されています。所有者がお住まいのため、見学時はご配慮ください。



3

ペレニアル花倶楽部

丸い猫の置物が目印のカシニワ。ペレニアルとは「多年草」を意味し、庭には複数年にわたって生存する草花が植えられています。春にかけて、スイセンの花などが見頃を迎えます。



教えていただいた皆さん

▲(左から)佐藤千代さん・伊藤主夫(かずお)さん・市岡實(みのる)さん

広報紙担当の

がらカ:リ 体験記

地域のかたからは、「伊藤家住宅」の今後の活用方法についてなど、地域を盛り上げていきたいという熱い気持ちを聞くことができました。また、この地域のことを「保育園から高校まで9つの園や学校、交番、郵便局、農協などがあり、大きな商業施設はないけれど、生活するにはすごく良い場所です」と話してくれました。実際に歩いてみると、歴史を感じるものや遊び心のある置物などが見られ、楽しく歩くことができました。まだ肌寒い時期ですが、春の兆しを探しながらお散歩してみてください。



◎ 連動企画「フレイル予防ウォーキング」を開催。詳しくは、本紙10面で確認を

次回(3月1日号)は
柏中央近隣センター
(アミューゼ柏)から歩く
ついに最終回。お楽しみに!

